

採用号	採用者名	アイデア内容
ホームページに掲載		ハーフティッシュ。ティッシュを半分に切って使います。

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第20号 (2020年2月 15日)	市内の小学4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・買うものをメモして、いらぬものは買わない ・プレゼント等のラッピングを少なくする ・本当にほしいものしか買わない ・ティッシュはなるべく使わない ・エコバッグのデザインをたくさん作って男の人でも女の人でも使えるようにする ・壊れたおもちゃはおもちゃ病院で治してもらう ・使い終わった洋服や靴下はぞうきんにして使う ・着ることができなくなった服をバッグや給食袋にリメイクする ・シャンプーや洗剤の詰め替え用を使う ・なるべくリサイクル商品を買う ・生ごみを埋めてたい肥にする ・ごみとして出しているものがリサイクルできるかもしれないからごみを出す前に分別の仕方を確認する

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第18号 (2019年2月 15日)	木曾東 Iさん	子どもの食事の際、使い捨てのエプロンやウェットティッシュではなくタオルを使っています。

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第17号 (2018年8月 15日)	小野路町 Kさん	お肉は発泡トレイに入ったものではなく袋に入ったものを買います。野菜は少量のものを買います。

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第16号 (2018年2月 15日)	木曾東 Hさん	レシートを家計簿代わりに使用しています。1か月ごとにまとめて管理しています。
	真光寺 Nさん	スイカの赤い部分を食べ終わったあと残る皮は、小さく切って天日干しすることによりごみの量を減らすことができます。また白い部分はコンソメやベーコンと一緒にスープにしたり、炒め物やスムージーにしてもおいしくいただけます。

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第10号 (2015年2月 21日)	小川 Kさん	裏が白いちらし広告に、絵を描いてミニ絵本を作っています。
	相原町 Sさん	食材は新鮮なものを選び、必要量だけ買います。すると冷蔵庫内はすっきり。薬物についてはすぐに調理して保存しています。

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第9号 (2014年8月 21日)	金森 Sさん	むいたジャガイモの皮を水にさらし、よく水気を切ってみじん切りにするとコロッケのパン粉代わりになり、しかもあっさりしておいしい味に仕上がります。
	玉川学園 Kさん	パック型のゼリー飲料の空き袋は捨てずに水やジュースを入れて冷凍し外出に持って出る。少しずつ溶けてかさばらず、冷たく夏の外出に大いに利用しています。ペットボトル不要です。
	野津田町 Sさん	家にあるカレンダーがめくり終わったらはがきサイズに切り、はがきとして使っています。

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第8号 (2014年2月 21日)	相原町 Hさん	じょうぶそうなダンボールをたんすにリサイクルして引き出しも作り、少しだけ部屋の収納になりました。
	大蔵町 Kさん	ティッシュペーパーは使わず、トイレtpペーパーを使用しています。野菜も魚もスーパーで声をかけると不要な葉や魚の頭やしっぽは切り取ってくれます。生ごみは出さないように、食事は8分目で作り残さないようにするのがコツです。後は資源ごみに分ければ家のごみは月1回で十分です。
	高ヶ坂 Iさん	ペットボトルはキャップをゆるめてつぶして、空気を抜いてからキャップを閉めて半日から1日位おいてキャップを外すとボトルは潰れたままになります。各家庭にこのことを奨励すれば回収時は空気を運ばないで済みます。
	玉川学園 Tさん	庭の雑草や草花は、ビニール袋に収容して枯らした後、短く切って土に戻すとごみも出ず肥料の一助ともなります。毎年、風知草(ふうちそう)などは晩秋に枯れた後短く切って土に戻します。

採用号	採用者名	アイデア内容
ごみナクナーレ 第7号 (2013年8月 21日)	金森東 Yさん	庭に穴を掘って、生ごみを入れてふたをするだけで、ごみが半分に減りました。虫やカビが発生したら、土をかぶせれば「OK」です。
	野津田町 Iさん	簡単なことですが、最初からごみ袋を小さめにすることです。大きな袋だと何故かごみも増えてしまいます。
	南大谷 Mさん	ごみ箱の横に紙袋を置いて、小さな紙は、紙袋の方に入れてあります。一杯になったらひもでしばって、古紙の日に出しています。やっているうちにやみつきになりました。
	木曾東 Hさん	ティッシュペーパーは使い道の割にふかれず、ただ、丸めて捨てられる面積が多い。ティッシュボックスから取り出したら半分に切って工夫してふけば、ごみが減ります。
	本町田 Uさん	野菜くずは、日に干して水分を減らし小さくなってから、燃やせるごみとして出します。
	南大谷 Aさん	トレイやプラスチック容器に入っている惣菜は、なるべく買わないで材料を買って、家でつくる。これは、包装容器の減量や家計の節約にもつながります。